

# ぶらり ライブラリー

特に目的があるわけではないけど、ぶらっと来てみたら、気になることに出合える場所。このコーナーでは毎回NICライブラリーを紹介をします。

## できることから

児童労働、貧困、飢餓、格差、温暖化...など私たちが抱える課題はたくさんあります。これらに関連するニュースを目にした日かほとんどないほどです。とても不安になりますが、同時に課題の解決に向けて私たちができることも、またたくさんあります。

私たちが採った判断や現在の行動の積み重ねが将来を形作るということを忘れずに、「未来のことを想像しながら、現在を見てみる」と、私たちが今何をすべきなのが見えてきそうです。ライブラリー所蔵で、参考になりそうな本やDVDをいくつかご紹介いたします。まずは「知る」ことから始めてみませんか。他にもたくさん関連の図書や映像資料がありますので、ぶらっとお立ち寄りください。

### 図書



「チェンジの扉ー児童労働に向き合ってきたこと」  
認定NPO法人ACE著、  
集英社(2018)



「考えよう！やってみよう！  
フェアトレード」シリーズ、  
波辺龍也/こどもくらぶ編集部、  
彩流社(2015)



「未来を変える目標  
SDGsアイデアブック」  
Think the Earth編著・出版  
(2018)

### DVD



「どこに行ってる、私のお金？  
ー世界をめぐるお金の流れと  
私たちの選択」  
制作：アジア太平洋資料  
センター(2021)



「世界の果ての通学路」  
発売元：KADOKAWA  
(2015)

# 姉妹友好 都市の広場

名古屋市とランス市は2017年10月に姉妹都市提携を結び、来年度5周年を迎えます。今回はランスにある世界遺産、ノートルダム大聖堂についてご紹介いたします。

## ノートルダム大聖堂

「ノートルダム」はフランス語で「私たちの貴婦人」という意味で、すなわち聖母マリアのことを指します。カトリックの教会や学校などにこの名を冠するものが多くあるのも頷けます。

「ノートルダム大聖堂」と聞いて、パリを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。パリの大聖堂は、12世紀から建設が始まり100年以上かけて完成された、ゴシック様式の大傑作と言われるものです。



▲パリのノートルダム大聖堂

一昨年、2019年4月に火災で大きな損傷を受けました。世界中の人々はその再建を祈り、現地では修復工事にに向けた準備が進んでいます。

戴冠式といえ  
ば、ディズニー  
映画『アナと雪  
の女王』にもそ  
の場面が出てき  
ましたね。

一方、ランスの大聖堂は13世紀に建設されました。後のフランス王国につながるフランク王国の初代国王クロウヴィス1世が5世紀にこの場所で洗礼を受けたことにちなんで、19世紀までは歴代フランス国王25名の戴冠式の舞台にもなりました。大聖堂に隣接するトー宮殿は元来、12世紀に建てられた大司教の館です。現在は、大聖堂ゆかりの品々や修復以前の彫刻などが展示されています。また、11世紀ごろに建造されたサン＝レミ聖堂には、歴代国王の戴冠式で使用された聖油瓶や、クロウヴィス1世に洗礼を受けた司教、聖レミの聖遺物(遺体)が安置されています。



▲ランスのノートルダム大聖堂  
©Carmen Moya

名古屋姉妹友好都市協会ウェブサイト  
URL: <http://nsca.gr.jp/>



名古屋姉妹友好都市協会フェイスブックページ  
URL: <https://www.facebook.com/nagoya.sistercities>



# 国際留学生 会館から

## 留学生の地域交流 ～私の母国を紹介します～

日本福祉大学国際福祉開発学部1年生

ウイス サプトラさん(インドネシア出身)

halo semuanya, apa kabar?  
ハロ セムアニャー、アパ カバル?  
皆さんこんにちは、お元気ですか?(インドネシア語)



9月17日、名古屋市立弥富小学校において、「つくろう！私たちのリトルワールド～世界の国々を比べよう～」をテーマに「総合学習」の授業が行われました。6年生の120人を対象に、国際留学生会館(以下「ISC」)のインドネシア、中国、ベトナム、モンゴルの各国出身の留学生が講師を務め、母国を紹介するとともに、児童たちとの交流を楽しみました。参加者のひとり、インドネシア出身のウイスさんに当日の感想などを語っていただきました。



▲当日の様子(黒板の前に立つウイスさん)

私は2019年来日し、今年4月に現在在籍する大学に入学しました。同

時にISCに入居し、新生活をスタートさせました。ISCでは、様々な国の留学生との交流やボランティア活動の機会があり、この授業もそのひとつです。

小学校の授業では、母国の風土や気候、民族、スポーツなどの紹介を通して、子どもたちとの触れ合いを楽しむことができました。周囲を海に囲まれ、小さな島々からなるインドネシアですが、実は山脈もあり登山を楽しむこともできます。また、赤道直下の熱帯性気候のため、住居は高床式というイメージがありますが、島や地域によっては直接地面に建てられた住宅も見られます。

このように、生活環境ひとつ取り上げても、一般的に知られている情報と実際を比較しながら紹介することで、児童たちがインドネシアに深く興味をもってくれたことが嬉しく、忘れられない思い出深い一日となりました。

これからも多くの市民の方々との交流の機会をより大切にしながら、インドネシアの文化や生活習慣などを紹介していきたいと思っています。

### 国際留学生会館とは...

NICが2001年から管理・運営している、留学生専用の宿泊施設(名古屋市港区)。居室90室のほか研修室や和室、体育室などを備え、100名の留学生が生活できる。日本文化理解講座の開催や各種相談・情報提供、地域住民との交流などを行っている。

# 世界のレシピ

## マンゴーのショコラオレンジ

フェアトレードのカカオとマンゴーで、ショコラオレンジを作ります。

チョコレートの原料であるカカオの栽培地域では、労働を強いられる子どもたちがいます。主要生産国のアフリカ、コートジボワールとガーナだけでもその数が156万人に上るとも言われています。

今回ご紹介するのは、「児童労働」を経ずに栽培されたカカオを使った、酸味と甘みと香ばしさを楽しめるお菓子です。使用する材料は主に2つ。日本からも近く、世界でも指折りのカカオ生産国であるインドネシアのパプアで栽培されたカカオと、フィリピン産のドライマンゴーです。ドライマンゴーは、家庭や地域で虐待を受けているフィリピンの子どもたちを児童労働や買春、人身売買などから救い、保護する活動をしている、現地のNGOブレダ基金を通して届いたものです。



皆さんのやる気と根気に合わせて、お家時間に楽しく作ってみてください！

今回は、名古屋市内でフェアトレードショップを経営する、六鹿晶子さんに紹介していただきます。



顔のみえる店～  
FAIR TRADE  
風's(ふ〜ず)



### 材料

- ★カカオニブ 50g
- ★カカオニブの代わりに、板チョコ50gでも可(甘いものを選んで)。
- ★カカオニブは食料店で入手できますが、自分でカカオ豆をフライパンで煎り、外殻を割って、カカオニブを取り出すこともできます。少し手間が増えますがぜひお試しください。
- ★砂糖 20g (ミネラルのある黒糖がおすすめ) <カカオニブと5:2の割合で>
- ★ドライマンゴー お好みの量

### 作り方

- 【カカオニブから作る人はここから】
- ①すり鉢で、カカオニブをしっとりとしたパウダー状になるまで碎く(フードプロセッサーを使ってもいいですが、心の余裕をもって時間をかけてゆっくり楽しく作るのがおすすめです)。
  - 【板チョコレートから作る人はここから】
  - ②湯煎にかけてトロトロになるまで溶かす。①からの人は、すり鉢ごと湯煎にかけ、砂糖を加えてさらにすり混ぜ続ける。
  - ③全体に照りが出たら、チョコレートを容器に移してドライマンゴーをトッピングする。
  - ④冷蔵庫で1時間ほど冷やし固めて完成。1週間ほど熟成させると結晶が整い、より美味しくなります。カカオニブと砂糖のザクとした食感もお楽しみください。